

事業名	家庭教育支援の推進	評価実施者	所 属 社会教育課 職・氏名 課長 竹谷和徳
-----	-----------	-------	---------------------------

主要事業の概要	開始年度	平成16年度		根拠法令等		教育基本法				
	実施方法	■ 直接		□ 委託		特定財源	■ 一般財源		□ 補助金等	□ 負担金
	目 的	滝川市家庭教育支援連絡協議会を中心に、基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどの基礎を子どもたちに育むことを目的とする。								
	事業内容	1.「早寝・早起き・朝ごはん」など生活習慣の徹底にかかる啓発 2.「我が家のマナー」の募集と普及								
事業費	区 分	19 年度	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	特 記 事 項			
	事業費(千円)	414	1,903	1,836	291	75	H21年度をもって文部科学省委託事業終了			
	うち一般財源	414	279	262	291	75				
目標と実績	区 分			単位	H19	H20	H21	H22	H23	実績の評価
	1	早寝ができて小学生	目標				40	42		
			実績	%		37.4	40.9			
	2	早起きができて小学生	目標				58	58		
			実績	%		57.3	57.4			
	3	毎日朝食を食べている小学生	目標				85	86		
			実績	%		84.5	85.5			
	4	家族と一緒に夕食を食べている小学生	目標				70	76		
実績			%		69.6	75.0				

評価項目		点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察							
1	必 要 性	8	市民ニーズや社会情勢に適合しているか			☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
		実施主体は適切か(民間、国・道が実施すべき事業ではないか)			☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	
		・核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化等により、家庭の教育力の低下が指摘されるなど、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっていることから適合していると評価する。 ・家庭教育に関わる団体等が参加して組織した「滝川市家庭教育支援連絡協議会」が主体となることで、幅広い視点での議論がなされ、具体的な事業につながっていったことから実施主体は適当と評価する。								
2	有 効 性	7	目的に照らして効果的な手法であるか			☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1
		成果が十分に上がっているか			☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1	
		・「我が家のマナー」の募集には292点が集まり、関心の高さを示したことから、家庭教育の重要性を考える具体的方法として効果的な手法であったと評価する。 ・成果については、生活習慣の定着には即効性はなく、成果を得るには継続した周知活動が必要である。今後「我が家のマナー」を「誰」に対して、「どんな方法」で周知をしていくのか効果的な取り組みを進めていく。								
3	効 率 性	3	費用と成果のバランスは適正か			☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1
		前年度まで活用していた文部科学省委託事業「訪問型家庭教育相談体制充実事業」が終了し、一般財源のみでの事業実施となった。「我が家のマナー」の標語ポスターの作成など、限られた予算の中で、周知活動を行い費用のバランスは取れたが、独自の周知方法では広がりがなく、さまざまな機会(イベントのチラシ利用など)を活用し、効果的な周知方法を再考する。								
総合評価	合計 ↓	18 /25	ランク (A～E)	事業の今後の方向性	文部科学省委託事業「訪問型家庭教育相談体制充実事業」が終了し、事務局体制も大幅に縮減となった。 「家庭教育」だけを単独で取り上げるのではなく、他の事業と抱き合わせるなど、組織や周知方法について検討し、効率的で持続可能な「家庭教育支援事業」の取り組みに向かう。 ☐ 拡充 ☒ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☒ 検証 ☐ 現状維持					
	100点 換算	72 /100	B							

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71～85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56～70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指す必要がある
 D : 41～55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

◎外部評価委員の計画・意見等

評価項目		点数	判定						点検・評価に関するコメント	
1	必要性	8	①	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1	・学校での道徳授業もやっているが、根本は家庭教育。 ・継続してよりより事業を行って頂きたい。 ・行政が縁の下になって、民間を巻き込んで行くような仕組みづくりを。	
			②	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
2	有効性	7	③	☐ 5	☒ 4	☐ 3	☐ 2	☐ 1		
			④	☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1		
3	効率性	3	⑤	☐ 5	☐ 4	☒ 3	☐ 2	☐ 1		
			合計	18 /25	100点 換算	72 /100	ランク	B		